

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0307

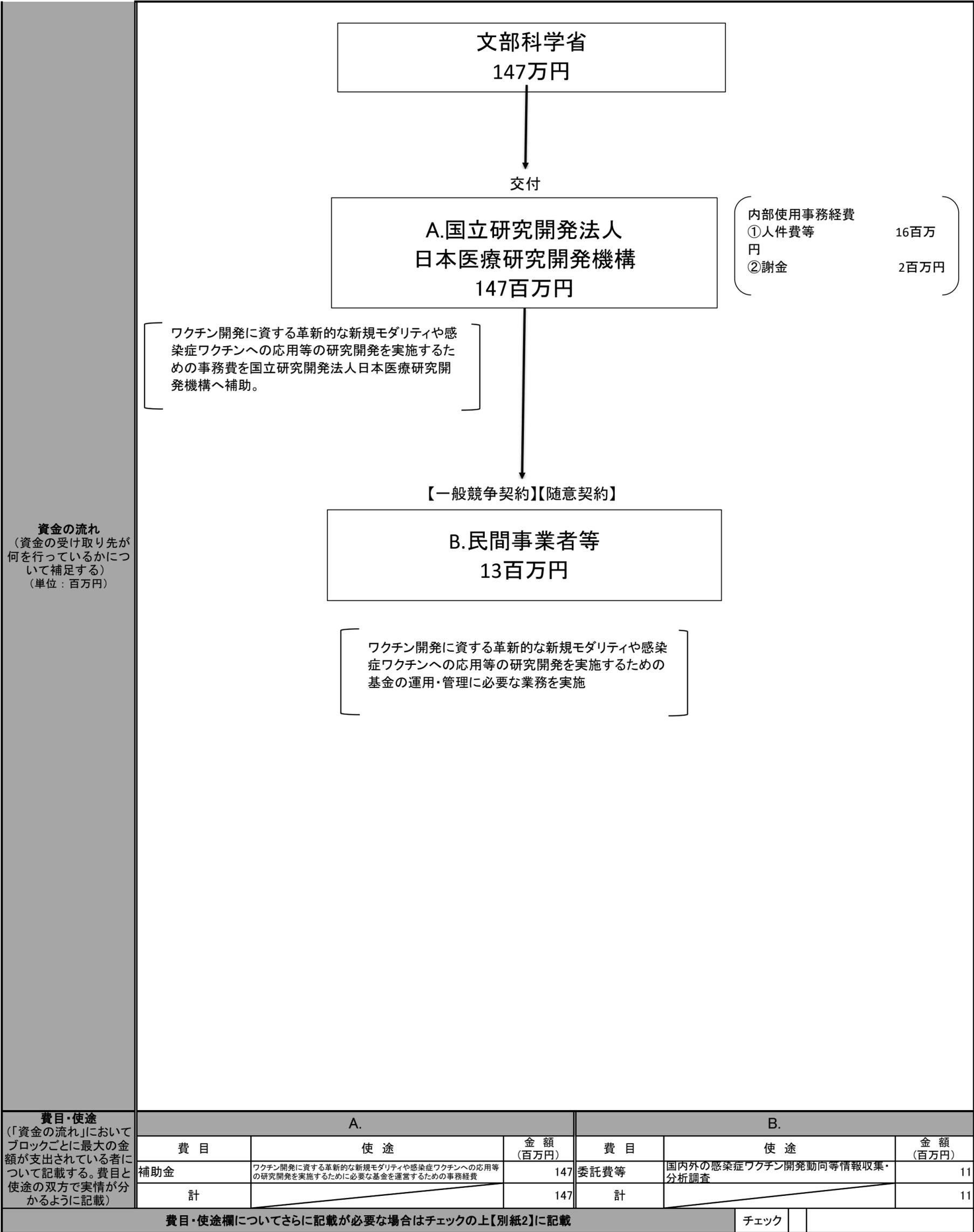
令和5年度行政事業レビューシート			( 文部科学省 )				
事業名	ワクチン・新規モダリティ研究開発事業		担当部局	研究振興局		作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 金井 宏行	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	・科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第27条の2 ・国立研究開発法人日本医療研究開発機構法第17条の2第2項		関係する 計画、通知等	・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定) ・統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) ・健康・医療戦略(令和2年3月27日第2期閣議決定) ・医療分野研究開発推進計画(令和2年3月27日第2期健康・医療戦略推進本部決定) ・ワクチン開発・生産体制強化戦略(令和3年6月1日閣議決定)			
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		主要経費	科学技術振興費			
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_9-3.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	重点感染症に対して、感染症有事にいち早く、安全で有効な、国際的に貢献できるワクチンを国内外に届けることを目指して、戦略的なファンディングを行う。						
現状・課題 (5行程度以内)	ワクチン開発に対する戦略的なファンディングを実現するため、豊富な目利き経験と人的ネットワークを有する「プロボスト」を中心とした体制を構築し、国内外のワクチンの開発状況などの情報を継続的に収集・分析した。この新たな体制の下、常にアップデートされた最新情報を踏まえ、ワクチン開発の公募に対する提案内容を評価し、専門的知見等に基づき、SCARDAで開発を支援すべき課題を決定した。これまでにワクチン開発として6課題、ワクチン開発に資する新規モダリティ研究開発として5課題を採択し、研究支援を開始した。また、ワクチン開発経験のない異分野から革新的な研究提案を呼び込むため、公募の仕組みを見直し新たな応募枠を設定した。全体を俯瞰し、関連の取組と整合が取れた事業推進の観点から、関係省庁の責任者やフラグシップ拠点長などで組織した戦略推進会合を設置し、情報共有・意見交換を実施した。						
事業概要 (5行程度以内)	①平時には長期的・安定的に、産学官・臨床現場の連携による総合的な研究開発推進体制により、戦略的に支援する。研究開発支援は、長期的視点で国際的に貢献することを念頭にし、(1)感染症ワクチンの開発、(2)ワクチン開発に資する新規モダリティ(創薬手法)の研究開発、の2本柱とする。②感染症有事には、平時のファンディングを通じて得られた最新の知見・技術やエビデンスを集積し、迅速・機動的なファンディングが必要となるワクチンの早期実用化を目指す。						
事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/21/02/001.html https://www.amed.go.jp/content/000111190.pdf						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施するワクチン・新規モダリティ研究開発事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】口						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	147	145	-
		執行額(G)	-	-	147	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	100%	-	-
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	100%	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費口					
	(目)	革新的研究開発推進基金補助金	145				
		その他					
	計(A)		145				

活動内容① (アクティビティ)	独自の情報収集・分析機能を活用した複数の重点感染症のワクチン、新規モダリティの研究開発の推進									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	国内外における関連分野の研究開発状況を把握・分析し、戦略的な資金配分等を行う。		研究開発課題の採択	活動実績	件	-	-	13	-	-
				当初見込み	件	-	-	10	15	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	新型コロナウイルスワクチンの開発においては米国等諸外国に遅れをとったため、今後の脅威に備え、コロナウイルスを含む感染症(重点感染症)に対するワクチンを開発することは医療に関わる経済安全保障の観点からも重要と考えられ、ワクチンの開発状況をアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7年度		
	開発予定ワクチンの安全性を確認する。	感染症ワクチンの非臨床安全性試験実施数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	5		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国立研究開発法人日本医療研究開発機構調べ									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	感染症ワクチンの非臨床安全性試験実施数(短期アウトカム)が達成され、それらが全て順調に進捗した場合、令和8年度に臨床試験開始課題数(長期アウトカム)が5件になることが見込まれる。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度		
	採択課題の成果を実用化に繋げる。	感染症ワクチンの研究開発について、臨床試験を開始する課題数	成果実績	件	-	-	1	-		
			目標値	件	-	-	1	5		
達成度	%	-	-	100	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国立研究開発法人日本医療研究開発機構調べ									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	ワクチン開発に革新的技術を取り入れる提案拡大に向けた取組									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	ワクチン開発経験のない異分野(理学、工学、情報科学等)の研究者からの革新的な研究提案を促す。	新規モダリティの研究開発(異分野参入促進型)の採択件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
当初見込み			件	-	-	-	5	-		
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	従来の感染症ワクチン開発に医療系以外の異分野からの提案を積極的に取り込むことで、長期的なパンデミック対策に繋がるため、アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	医療系以外の異分野の研究者からの研究課題提案を促す。	新規モダリティの研究開発(異分野参入促進型)の採択件数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	5		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国立研究開発法人日本医療研究開発機構調べ									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	異分野の研究者からの研究課題提案を実用化に繋げることは医療系学部とそれ以外の学部の連携を強化する上で重要であるため、実用化に向けた取組(非臨床安全性試験以降の研究開発を開始する課題数)をアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 8年度		
	採択課題の成果を実用化に繋げる。	ワクチン開発に資する新規モダリティの研究開発(異分野参入促進型)について、非臨床安全性試験以降の研究開発を開始する課題数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	2		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	AMED国立研究開発法人日本医療研究開発機構調べ									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)	迅速なワクチン開発と実用化を目指し国内外との連携強化									
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	海外を含めた関係機関との連携体制を構築する。	関係府省、フラッグシップ拠点長等の関係者からなる「戦略推進会合」の開催数	活動実績	件	-	-	5	-	-	
			当初見込み	件	-	-	5	3	3	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	全体を俯瞰し、関連の取組との整合が取れた事業を推進する観点からは戦略推進会合を開催し、海外を含めた関係機関との連携体制の構築については海外機関とのMOCの署名を目標とする。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6年度		
	海外を含めた関係機関との連携体制を構築する。	海外機関等とのMOC(協力覚書)の感染症領域での署名件数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	2		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国立研究開発法人日本医療研究開発機構調べ									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
	-									
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-								
	URL	-								
	該当箇所	-								
事業所管部局による点検・改善										
点検結果	本事業は、重点感染症に対して、感染症有事にいち早く、安全で有効な、国際的に貢献できるワクチンを国内外に届けることを目指して、戦略的なファンディングを行うものである。研究開発の推進に当たっては、事業の効果的な実施及び研究費予算の効率的な執行の観点から、適切に運営する予定である。						目標年度における効果測定に関する評価(令和7年度実施)			
	-						-			
改善の 方向性	-									





**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	ワクチン開発に資する革新的な新規モダリティや感染症ワクチンへの応用等の研究開発を実施するために必要な基金を運営するための事務経費	147	委託費等	国内外の感染症ワクチン開発動向等情報収集・分析調査	11	
計		147	計		11	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	ワクチン開発に資する革新的な新規モダリティや感染症ワクチンへの応用等の研究開発を実施するために必要な基金を運営するための事務経費	147	補助金等交付	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社	3010001024705	国内外の感染症ワクチン開発動向等情報収集・分析調査	11	一般競争契約(総合評価)	3	--	
2	弁護士法人森・濱田松本法律事務所	6010005021423	ワクチン・新規モダリティ研究開発事業に関する法律相談	0.5	随意契約(少額)	-	--	
3	株式会社ティーケーピー	7010001105955	外部会議室借り入れ契約	0.4	随意契約(少額)	-	--	
4	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	2013405000693	web会議の運営支援	0.3	随意契約(少額)	-	--	
5	三井不動産ビルマネジメント株式会社	4010001129759	外部会議室借り入れ契約	0.3	随意契約(少額)	-	--	
6	株式会社Swimmy	8010401148405	音声データ・テープ起こし	0.3	一般競争契約(最低価格)	3	--	
7	日本薬科機器協会		学会展示ブース借り上げ	0.1	随意契約(少額)	-	--	
8	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	音声データ・テープ起こし	0.1	一般競争契約(最低価格)	2	--	
9	株式会社JTBビジネスホテルソリューションズ北海道支店	3010601027256	出張旅費	0.1	一般競争契約(総合評価)	1	--	
10	株式会社Glow	8013301032265	web会議の運営支援	0.1	随意契約(少額)	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	